

(別紙1)

利用できる主な施設・設備等一覧表

新潟大学災害・復興科学研究所

施設・設備等の名称	施設・設備等の概要
安定同位体分析装置	地下水などの酸素同位体比などを測定できる。
リングせん断試験装置	回転型リングせん断試験機を用いる事により、大変位を経過した後の残留強度を計測する事ができる。再滑動型地すべりのすべり面付近の土の強度を測定するのに適している。
反射法弾性波探査システム	伏在断層調査や浅層地盤構造の解析を目的とした浅層地盤の反射法弾性波探査、微動アレイ観測などが実施できる。
簡易ボーリング(ハンディジオスライサー、HDサンプラー)	深さ約3mまでの地盤試料(幅15cm厚さ3cm程度)を定方位で採取する。打ち込み式簡易ボーリングにより深度5mまでの地盤試料(口径4cm)を採取する。
SCSC式ボーリングシステム	機械打撃式ボーリングにより深度5mまでの地盤試料(口径8cm)を採取、地下水位以下での採取も可能。HDサンプラーよりも高いN値の地盤まで対応可能。
粒度分析装置	レーザ式(マスターサイザー3000)による分析装置(最大径2mmまでの試料に対応)と沈降法による分析装置(1~5Φ程度の試料に対応)があり、用途に応じた分析が可能。
GPS測量装置	単独設置型のGPS測量装置(トリプル4000SSE)とムーバ附属タイプの測量装置を有する。
地下レーダ探査装置	電磁波を利用したイメージングにより、浅層地盤の地下構造や内部堆積構造の調査が可能。
低温実験室	低温環境下での雪氷等の実験を実施できる。
PWS計測システム	降水強度・降水種別を風向風速、気温、湿度、気圧等の変動とともに高時間分解能で計測する装置。
対流圏DBSシステム	上空の鉛直風の挙動を連続的に観測可能な気象ドップラーレーダ(天頂向け観測に特化)。
山岳気候変動モニタリングシステム	熱収支観測が可能な自動気象積雪観測システム(大佐渡山地に設置)。